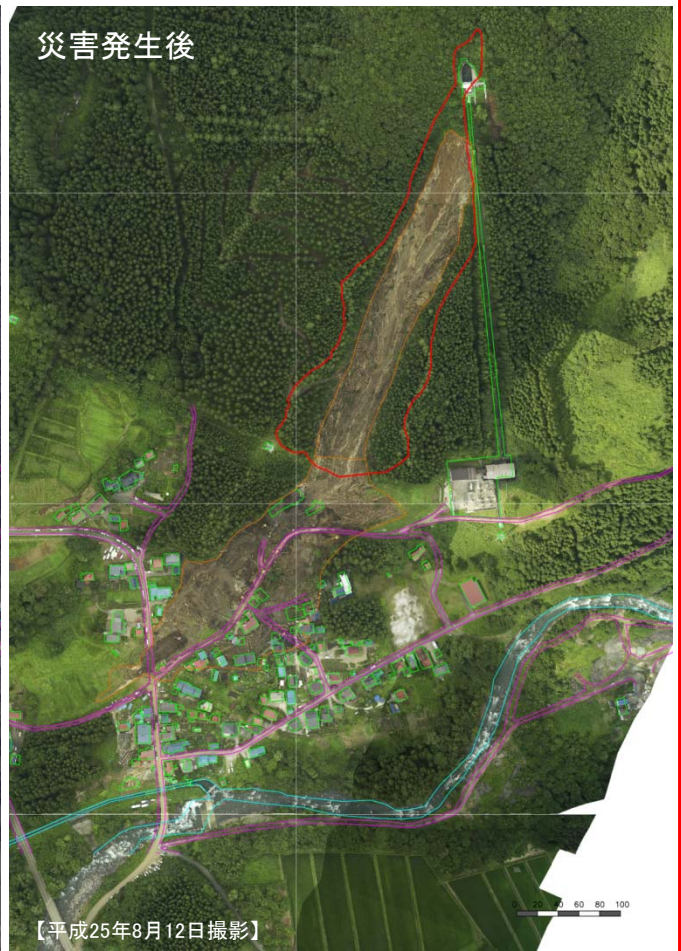
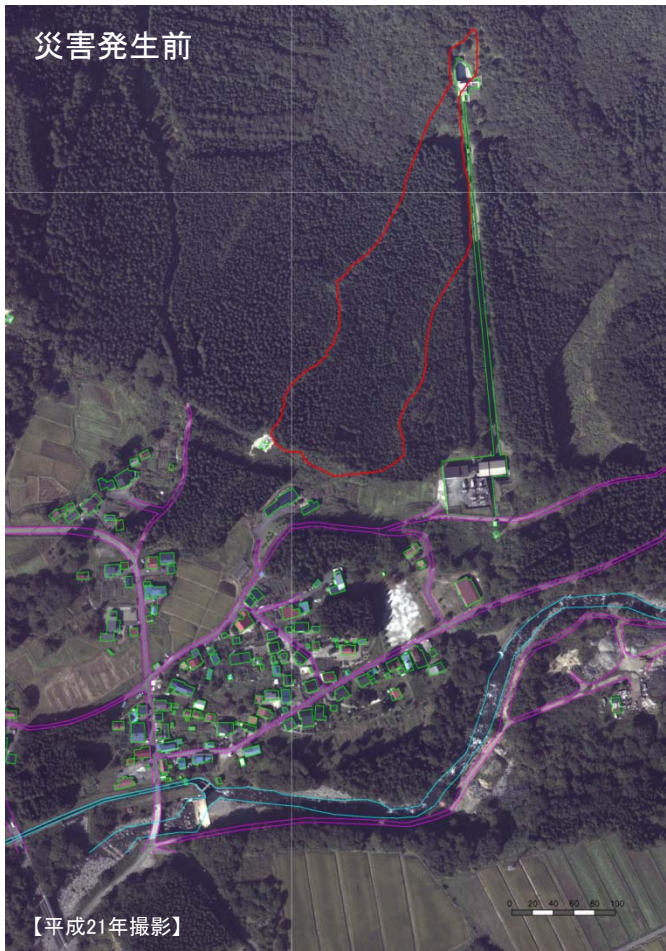


平成25年8月9日 秋田県仙北市田沢湖田沢供養佛地区 で発生した土砂災害の概要

(平成26年7月23日現在)



災害発生前後の航空写真・被災状況写真



土砂災害発生状況



家屋等被災状況



被害の概要

◆土石流の発生(平成25年8月9日11:35頃)

◆被害の状況

- ・建物被害 先達地区17棟(住家全壊5棟、住家半壊1棟、非住家全壊10棟、非住家半壊1棟)
- ・人的被害 6名死亡、1名重傷、1名軽傷

◆避難勧告・解除の経過

◆8月13日までの捜索動員数(捜索は13日で終了)

避難勧告発令・解除日時	世帯数	人数
8月9日13時53分 発令	55世帯	152人
8月11日17時10分 一部解除 (7世帯26人)	48世帯	126人
8月12日16時50分 一部解除 (16世帯53人)	32世帯	73人
8月12日19時00分 一部解除 (10世帯25人)	22世帯	48人
8月13日9時10分 一部解除 (2世帯3人)	20世帯	45人
8月13日16時00分 一部解除 (4世帯5人)	16世帯	40人
8月13日17時45分 一部解除 (1世帯3人)	15世帯	37人
8月16日13時30分 一部解除 (6世帯12人)	9世帯	25人
8月19日10時24分 発令 (34世帯91人)	43世帯	116人
8月19日15時00分 一部解除 (38世帯100人)	5世帯	16人
11月5日9時45分 解除 (5世帯16人)	—	—

年月日	自衛隊	消防団	広域消防	警察	オペレータ	その他	計
2013年8月9日(金)		40人	80人	18人			138人
2013年8月10日(土)		143人	40人	27人	69人		279人
2013年8月11日(日)	123人	98人	27人	64人	4人	5人	321人
2013年8月12日(月)	96人	53人	28人	48人	9人	5人	239人
2013年8月13日(火)	112人	65人	27人	35人	17人	12人	268人
							1,245人

(仙北市:広報せんぼく号外)

(秋田県:総合防災課発表表)

国土交通省湯沢河川国道事務所の災害対策支部体制等の状況

日時	内容
平成25年8月9日	9:00 災害対策支部 警戒体制(砂防)を設置
	14:05 仙北市田沢湖庁舎災害対策本部にリエゾン出発
	15:15 八幡平山系(秋田県側)の漂流状況調査を開始
	15:35 仙北市田沢湖庁舎災害対策本部にリエゾン到着
	17:36 八幡平山系(秋田県側)の漂流状況調査を完了確認できる範囲では異常なし
	19:12 国土交通省照明車2台出発(山形県新庄市)
	22:45 国土交通省照明車2台到着(秋田県仙北市)
平成25年8月10日	7:00 八幡平山系(秋田県側)の漂流および砂防施設の点検開始
	10:37 八幡平山系(秋田県側)の漂流および砂防施設の点検完了(異常なし)
	11:50 防災ヘリコプター「みちのく号」による調査開始
	12:15 災害対策本部車が出発(岩手県盛岡市)
	13:00 秋田県からの要請による国土技術政策総合研究所砂防研究室による現地調査開始
	14:35 災害対策本部車到着(秋田県仙北市)
	14:45 国土技術政策総合研究所砂防研究室による現地調査完了仙北市長説明・記者会見
	14:45 防災ヘリコプター「みちのく号」による調査終了大規模な崩壊は確認されず
	17:30 国土交通省照明車2台撤収(山形県新庄市)
平成25年8月11日	レーザ計測準備、天候不順のため延期
平成25年8月12日	レーザ計測完了
平成25年8月13日	12:05 政府調査団(内閣府西村副大臣)による調査
平成25年8月14日	11:00 国土交通省調査団(松下政務官)による調査
	15:00 現地映像配信のための衛星小型画像伝送装置(Ku-SAT)設置開始
平成25年8月15日	12:30 国・秋田県・東北電力による合同現地調査
	15:00 [秋田県]第1回 仙北市供養佛地区 土石流警戒避難に関する情報連絡会
	16:30 Ku-SATによる現地映像の配信開始
平成25年8月16日	17:00 供養佛臨時雨量観測所を設置・運用開始(HP表示・異常時のメール配信)
平成25年8月19日	8:50 雨量基準の「10mm/h」を超過。情報がメール配信されるも異常なし。
平成25年8月22日	10:30 雄物川リバーカウンセラーによる現地調査
	14:00 [秋田県]第2回 仙北市供養佛地区 土石流警戒避難に関する情報連絡会

日時	内容
平成25年8月23日	16:00 [仙北市]監視復旧センター開所
平成25年8月29日	ワイヤーセンサーの設置、雨量計(副)の設置
平成25年9月3日	14:00 [秋田県]第1回 仙北市供養佛地区 土石流警戒避難に関する検討委員会
平成25年9月12日	15:00 災害対策本部車およびKu-SATの撤収完了(光ケーブル回線へ切替)
平成25年9月17日	14:00 供養佛地区における災害復旧工事の採択(財務省)
平成25年9月19日	18:00 国による緊急工事に係る地元説明会を開催
平成25年9月30日	崩壊斜面上部の水槽周辺を再度地質調査会社等と現地調査
平成25年10月1日	8:30 緊急工事に着手
	事務所HPに供養佛関連情報専用ページを設置
平成25年10月15日	台風26号接近を前に崩壊斜面への大型土のう設置を前倒し施工
平成25年10月23日	緊急工事に関する情報提供(供養佛地区全戸に配布)
平成25年10月25日	11:00 砂防堰堤本体着手にあたって施工業者主催より工事の安全祈願
平成25年11月5日	9:45 [県・仙北市]災害対策本部を解散、すべての避難勧告解除
	13:00 東北管内地方公共団体技術職員による現地検討会
平成25年11月11日	[仙北市]監視復旧センターの解散
	仙北市で初冠雪
平成25年11月13日	13:00 東北地方整備局の災害危機管理セミナーにおける現地検討会
平成25年11月28日	13:00 [秋田県]第2回 仙北市供養佛地区 土石流警戒避難に関する検討委員会
平成25年12月3日	砂防堰堤のコンクリート打設開始
平成25年12月4日	8:30 災害対策支部 警戒体制(砂防)を 注意体制(砂防)に移行
平成25年12月30日	工事の一時休止
平成26年3月3日	13:30 [秋田県]第2回 仙北市供養佛地区 土石流警戒避難に関する情報連絡会
平成26年3月10日	工事の再開
平成26年5月30日	供養佛沢砂防堰堤の主堰堤が完成
平成26年6月27日	供養佛沢砂防堰堤本体が完成
平成26年6月29日	11:00 供養佛沢砂防堰堤完成式を挙げる
平成26年7月2日	13:00 [秋田県]第3回 仙北市供養佛地区 土石流警戒避難に関する検討委員会
平成26年7月16日	10:30 災害対策支部 注意体制(砂防)を解除

気象概要

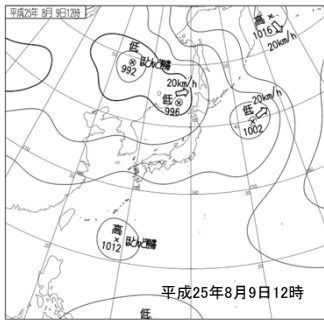
平成25年8月9日、北日本では日本海から湿った空気が流れ込んだため大気の状態が非常に不安定となり、明け方から昼過ぎにかけて秋田県北部を中心に局地的に猛烈な降雨となった。

降雨は各地で観測史上最大値を記録するなど、のちに平成25年8月30日から気象庁が運用を開始した特別警報相当の大雨であったと言われる。

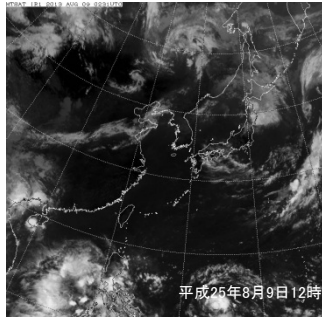
日最大1時間降水量は、鹿角(108.5mm)、鎧畑(88.0mm)、桧木内(81.0mm)、大館(68.0mm)、湯瀬(50.5mm)で観測史上最大の降雨※となった。

日降水量は、鹿角(293.0mm)、鎧畑(278.0mm)、桧木内(235.5mm)で観測史上最大、湯瀬(135.5mm)では観測史上第2位の降雨※となった。

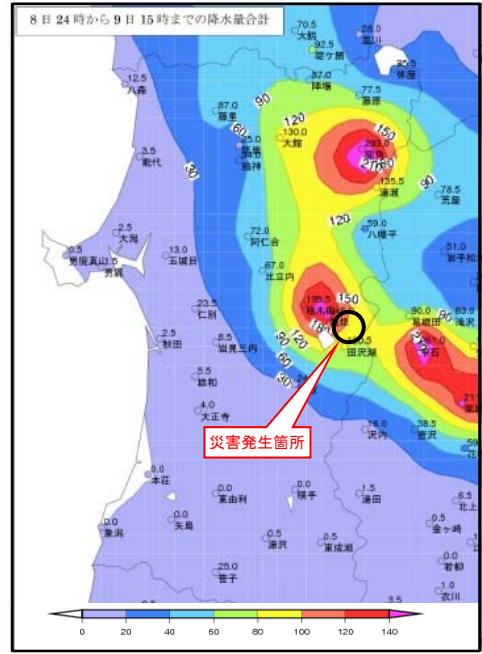
※気象庁アメダスデータ(観測史上1~10位の値より)



地上天気図



気象衛星画像(赤外画像)



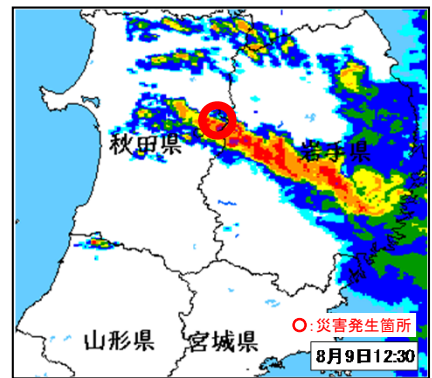
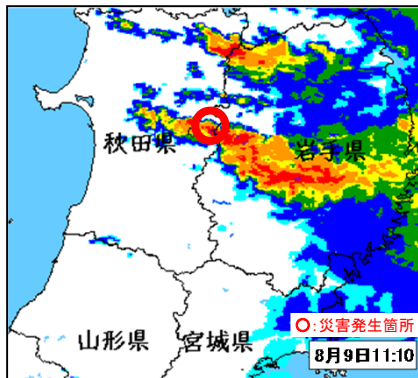
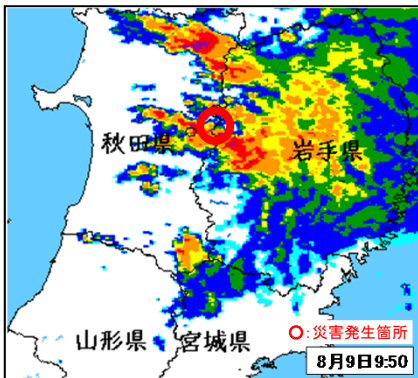
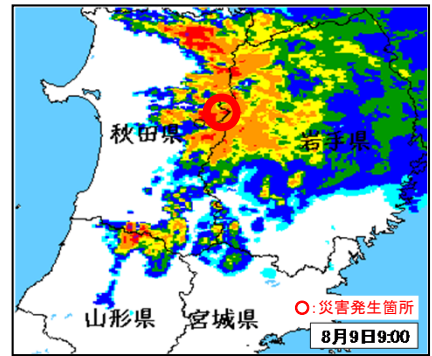
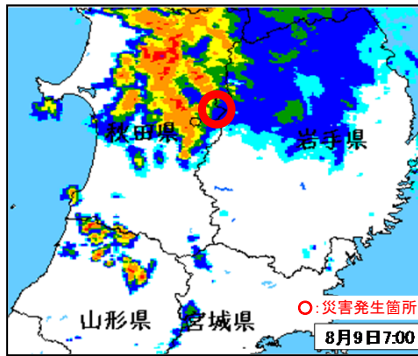
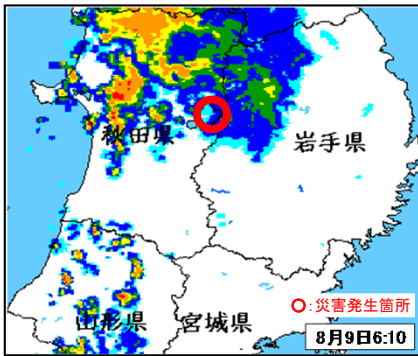
等雨量線図(8日24時~9日15時)

秋田県災害時気象資料(第2報)「8月9日の秋田県の大雨」(平成25年8月11日秋田地方気象台発表)

降雨概要

平成25年8月9日6~12時頃にかけて災害発生箇所周辺は断続的に強い雨域に覆われ、短時間に記録的な豪雨となった。この豪雨により、がけ崩れなどによる通行止めが発生したほか、秋田新幹線が運休するなど、交通機関にも大きな影響をおよぼした。

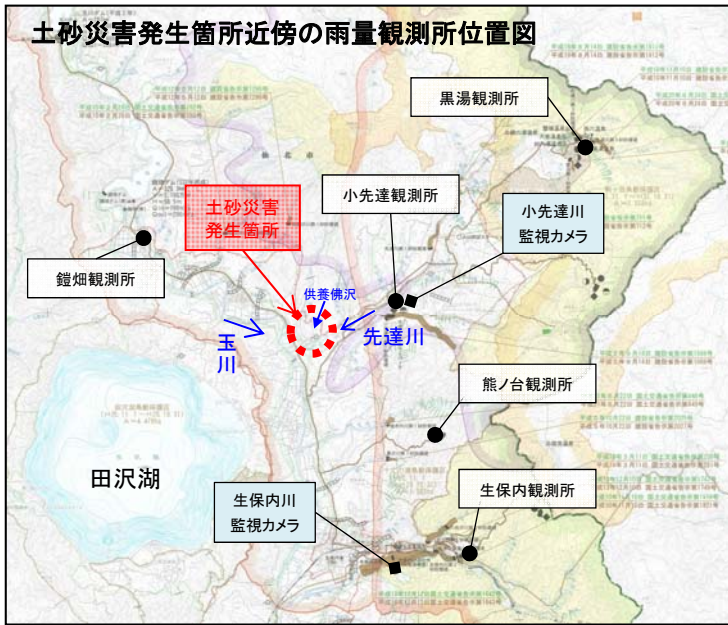
雨量凡例	
100mm/h~	赤
~100mm/h	赤
~60mm/h	黄
~20mm/h	黄
~10mm/h	黄
~5mm/h	黄
~1mm/h	黄
0mm/h	黄
欠測	白



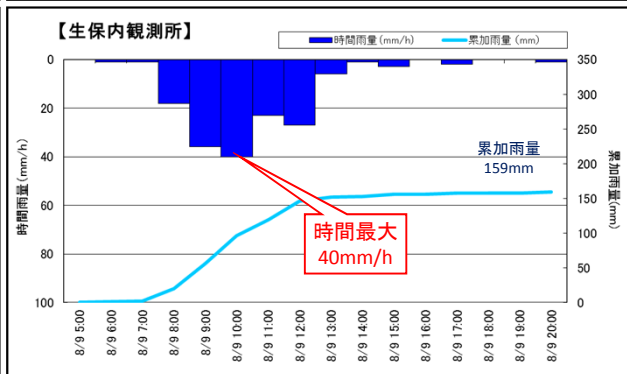
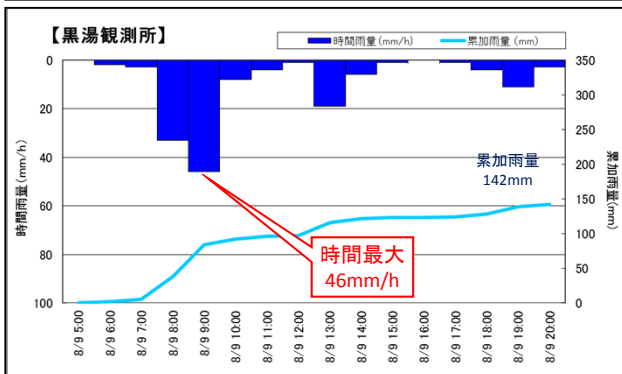
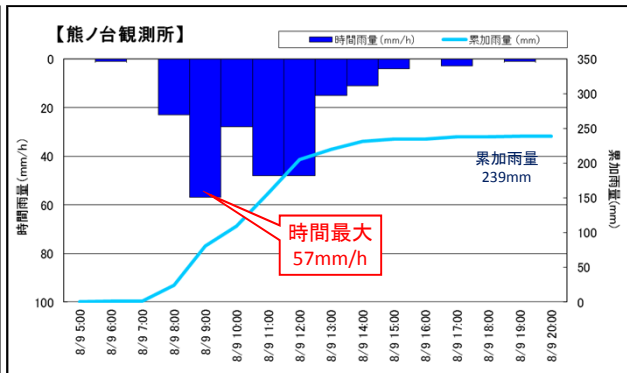
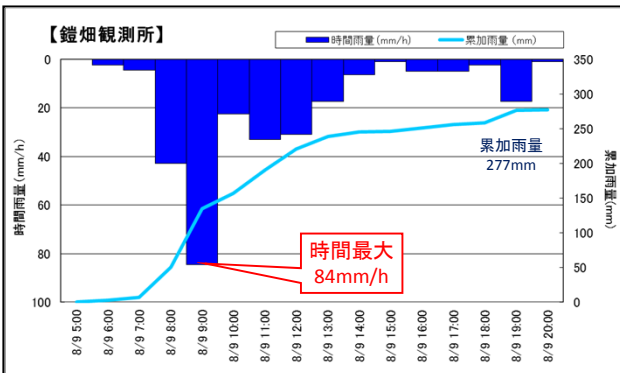
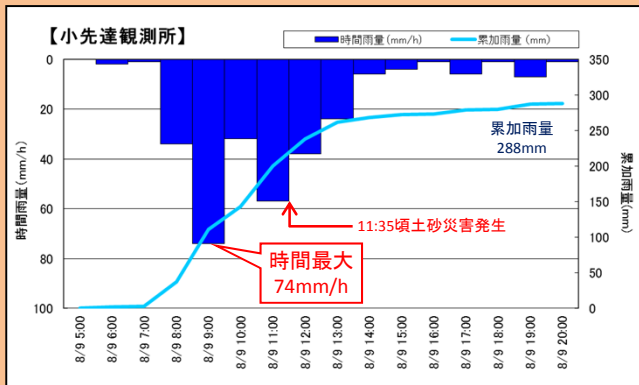
雨量レーダ(国土交通省 湯沢河川国道事務所)

観測雨量 および 監視カメラ映像

土砂災害発生箇所近傍の雨量観測所位置図



土砂災害発生箇所最近傍の雨量観測所データ(災害発生箇所から約3km地点)



※湯沢河川国道事務所観測データ(釜畑観測所(アメダス)除く)

秋田県からの要請による 国土技術政策総合研究所

◆調査日：平成25年8月10日
◆調査者：国土技術政策総合研究所
危機管理技術研究センター
(現:土砂災害研究部)
砂防研究室
室長 蒲原潤一
部外研究員 丹波諭



砂防研究室による現地調査

⑧



⑨



⑩



⑪



⑦



⑥



③



④



⑤



⑫



秋田県からの要請による 国土技術政策総合研究所

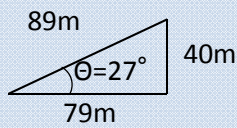
【現地調査後の蒲原室長の



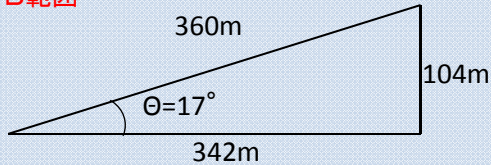
平成25年8月10日撮影

土石流が発生した供養佛沢の勾配

A範囲



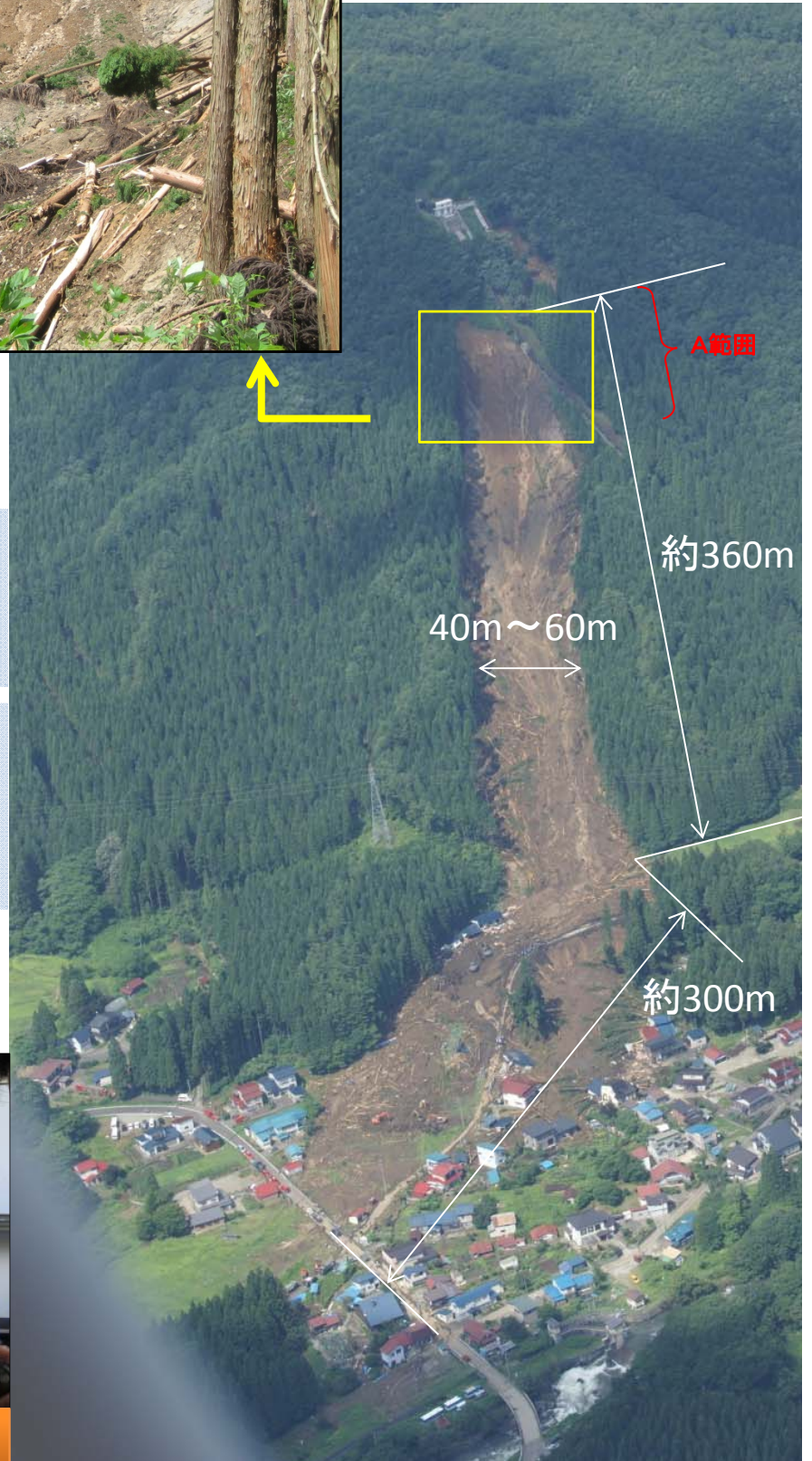
B範囲



- ※1. 数値は平成21年撮影のLPデータからの推定
- ※2. 今後の詳細な調査により、本資料と異なる結果となる場合があります。



仙北市長への調査結果報告
(8月10日 14:50~)

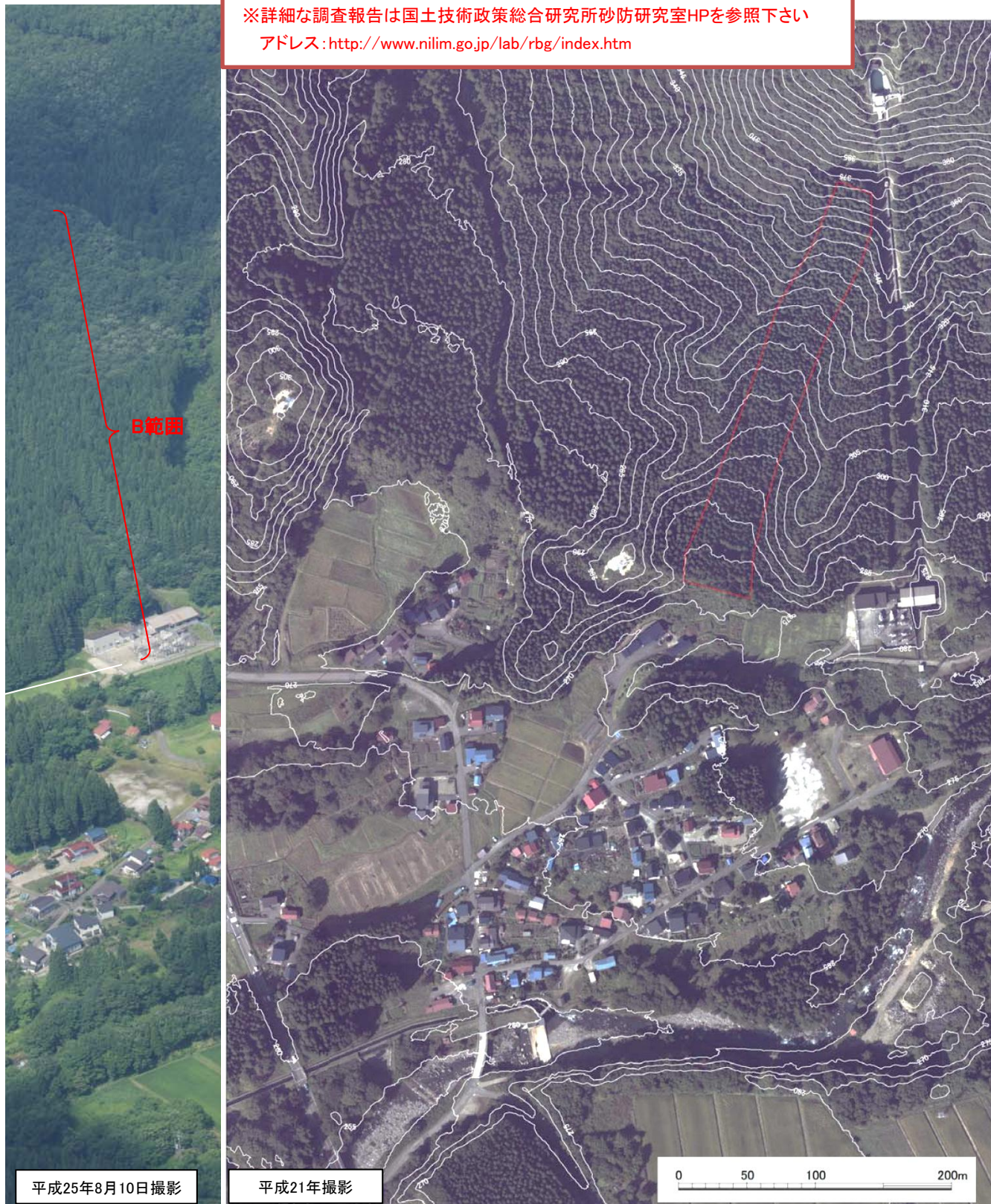


砂防研究室による現地調査(続き)

所見】

- ・凹型の谷地形
- ・急勾配と風化した火山噴出物の堆積
- ・豪雨により雨水が集中

※詳細な調査報告は国土技術政策総合研究所砂防研究室HPを参照下さい
アドレス：<http://www.nilim.go.jp/lab/rbg/index.htm>



政府調査団による現地調査

調査日 : 平成25年8月13日(火) 12時05分～

メンバー : 【政府調査団】

西村康稔 内閣府副大臣 ほか

〔内閣府、警察庁、総務省、消防庁、厚生労働省、
林野庁、国土交通省、気象庁、環境省、防衛省〕

【秋田県】

佐竹知事 ほか

【秋田県仙北地域振興局】

佐々木局長 ほか

【仙北市】

門脇市長 ほか

【国交省湯沢河川国道事務所】 平野所長 ほか



仙北市加古危機管理監による西村副大臣への災害状況説明



政府調査団との意見交換



政府調査団による現地調査



政府調査団による現地調査



行方不明者の搜索活動



避難所の訪問

国土交通省調査団による現地調査

調査日 : 平成25年8月14日(水) 11時00分～

メンバー : 【国土交通省】

松下新平 国土交通大臣政務官

大野砂防部長、塚原防災課長、前田道路防災対策室長

【国交省東北地方整備局】

小池局長、横田総務部長、川崎道路部長 ほか

【秋田県】

堀井副知事 ほか

【秋田県仙北地域振興局】

佐々木局長 ほか

【仙北市】

門脇市長 ほか

【国交省湯沢河川国道事務所】

平野所長 ほか



仙北市加古危機管理監による松下政務官への災害状況説明



門脇仙北市長による災害状況説明



国土交通省調査団による現地調査



堀井副知事による秋田県内の豪雨災害の概要説明
(国交省 災害対策本部車内)



調査を終え取材を受ける松下国土交通大臣政務官

国土技術政策総合研究所・秋田県・東北地方整備局・東北電力(株) による合同現地調査

調査日 : 平成25年8月15日(木) 12時30分～

メンバー : 【国土交通省国土技術政策総合研究所】 蒲原砂防研究室長

【秋田県】 2人

【国土交通省東北地方整備局】 6人

【国土交通省湯沢河川国道事務所】 2人

【東北電力(株)】 2人



崩壊斜面頂部の調査状況



崩壊斜面下流側の状況



崩壊斜面頂部の状況確認



現地での意見交換



崩壊斜面と先達発電所水圧鉄管

【第1回】土石流警戒避難に関する情報連絡会

実施日 : 平成25年8月15日(木) 15時00分～ [事務局:秋田県]

場 所 : 仙北市役所田沢湖庁舎

メンバー : 【国土技術政策総合研究所】 蒲原砂防研究室長
【秋田地方気象台】 野村防災気象官、野口予報官
【秋田県】 齋藤防災監、田口流域防災監 ほか
【秋田県仙北地域振興局】 菅原建設部次長、高橋総務企画部課長 ほか
【仙北市】 門脇市長 ほか
【仙北警察署】 佐々木署長 ほか
【角館消防署】 菅原署長 ほか
【国土交通省東北地方整備局】 磯部河川計画課長、高橋地域河川課長 ほか
【国土交通省湯沢河川国道事務所】 土田副所長 ほか

◆情報連絡会

供養佛地区で発生した土砂災害に対し、国・県・市の関係機関が現状の確認、今後の対応等について情報共有し、地区住民の適切な警戒・避難に関する情報発信及び土砂災害防止に向けた対応を円滑・迅速に実施するために秋田県が設置



関係機関による情報連絡会の模様

【情報連絡会での確認事項等】

■警戒避難地区の考え方

■避難準備と避難勧告の運用基準を設定

【避難判断基準(第1段階)】→避難準備情報の発表
→時間雨量10mmまたは累加雨量50mm
または、大雨注意報が発表された場合

【避難判断基準(第2段階)】→避難勧告の発令
→大雨警報(土砂災害)が発表された場合

※ 避難準備情報の発表や避難勧告は仙北市が最終決定



情報連絡会終了後の記者会見

【記者発表】 供養佛臨時雨量観測所の運用開始

【記者発表】 発表日：平成25年8月16日(金)

記者発表資料 平成25年8月16日
湯沢河川国道事務所

**「供養佛臨時雨量観測所」の運用を開始
～監視体制への追加支援～**

8月9日に発生した田沢湖田沢供養佛地区の土砂災害について、監視体制の支援として、15日16時30分より衛星小型映像伝送装置(KU-SAT) 2台を設置・配信したところです。
また、本日「供養佛臨時雨量観測所」を先達会館脇のグラウンド内に設置し、17時より運用を開始しました。
なお、雨量データは、当事務所HPより確認可能です。

《添付資料》

- 供養佛臨時雨量観測所の位置及び設置状況
- 事務所HPにバナーを新設

湯沢河川国道事務所HPのURLは下記のとおりです
<http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>

登載表記者会：秋田県政記者会、機手記者会、秋田県新報社大曲・湯沢支局

《問い合わせ先》

国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所
湯沢市関口字上寺沢64-2
電話0183-73-5544
技術副所長 土田 恒年 (内線204)
調査第一課長 畑山 作榮 (内線351)

事務所 トップページ

パソコンから：<http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>

Yuzawa Hot Com.
湯沢河川国道事務所

サイト内検索 Google 文字サイズの変更
検索 大 戻す 小

事務所情報 かわ情報 さぼり情報 ダム情報 みち情報 ちいきづくり情報

トップページ

緊急情報 過去の情報はこちら

2013/08/10 13:00【防災情報】(記者発表)湯沢河川国道事務所 大雨による防災情報(第6報)(PDF:874KB)

新着情報 一覧はこちら

[13-08-12] 広報誌に『およま通信 (Vol.45)』を追加しました

[13-08-09] 入札公告を更新しました

[13-08-07] 広報誌に『けんせつ大曲』を追加しました

[13-08-06] 秋田県内初！ 国と日本郵便株式会社が、土砂災害防止に関する協力協定を締結

[13-08-06] 工事情報 院内道路 工事進捗状況を更新しました

記者発表 一覧はこちら

[13-08-05] 合同調査を初開催します ～秋田駒ヶ岳に係る秋田・岩手両県の防災関係機関が合同調査～(PDF:1202KB)

[13-07-28] ～秋田県内では初～八幡平山系(秋田側)の土砂災害防止で国と日本郵便(株)が連携(PDF:976KB)

[13-07-24] 一般国道13号 院内道路 下院内トンネル工事の『着工式』を開催します。(PDF:393KB)

[13-07-23] 「水生生物による水質の簡易調査」を実施します(PDF:394KB)

田沢湖田沢供養佛地区
雨量情報

東日本大震災 関連情報
がんばろう！東北

トピックス バックナンバー

[13-08-06] 秋田県内初！ 国と日

「供養佛臨時雨量観測所」の位置及び設置状況



雄物川リバーカウンセラー(秋田大学松富教授)による現地調査

調査日 : 平成25年8月22日(木) 10時30分～

メンバー : 【秋田大学 工学資源学研究科】 松富教授

【国土交通省湯沢河川国道事務所】 土田副所長 ほか



崩壊斜面の調査状況



崩壊斜面上部の状況確認



崩壊斜面下部の状況確認



災害発生状況説明



災害発生状況説明

【第2回】 土石流警戒避難に関する情報連絡会

実施日 : 平成25年8月22日(木) 14時00分～ [事務局:秋田県]

場所 : 仙北市役所田沢湖庁舎

メンバー:【国土技術政策総合研究所】 蒲原砂防研究室長
【秋田地方気象台】 野村防災気象官、湊土砂災害気象官
【秋田県】 柳田政策監、田口流域防災監
【秋田県仙北地域振興局】 菅原建設部次長、高橋総務企画部課長
【仙北市】 門脇市長 ほか
【国土交通省東北地方整備局】 嶋原建設専門官、後藤地域河川課長補佐
【国土交通省湯沢河川国道事務所】 土田副所長 ほか



関係機関による情報連絡会の模様

【情報連絡会での確認事項等】

- 応急復旧計画、避難勧告区域の確認
- 警戒情報・避難勧告等に関する雨量等基準の確認
 - ・メール配信について確認
 - ・避難勧告等の運用基準については変更なし
- 9月上旬の専門委員会設置・開催について確認



情報連絡会終了後の記者会見

【記者発表】 国土交通省の土石流災害への対応について

【記者発表】 発表日：平成25年8月22日（木） 19時30分

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記者発表資料
水管理・国土保全局
砂防部保全課同時発表

Press Release

平成25年8月22日
東北地方整備局河川部

秋田県仙北市田沢湖田沢供養佛地区における
土石流災害への対応について

秋田県仙北市田沢湖田沢供養佛地区にて、平成25年8月9日豪雨により、甚大な土石流災害が発生しました。このため、再度災害防止に向け、国土交通省が砂防施設の整備等の対策を実施することとしましたのでお知らせします。

<国土交通省のこれまでの支援状況>

- 1) 土砂災害専門家の派遣による技術的支援
- 2) TEC-FORCE派遣、リエゾン派遣
- 3) 崩壊斜面等の監視カメラの設置、関係機関への映像配信
- 4) 避難判断のための現地雨量計設置
関係機関への警報メールの配信

(発表記者会) 秋田県政記者会・宮城県政記者会・東北電力記者会・東北専門記者会

問い合わせ先			
国土交通省 水管理・国土保全局	砂防部 保全課 企画専門官	吉村 元吾 (内線36222)	
		代表 03-5253-8111	
		直通 03-5253-8469	
		FAX 03-5253-1611	
国土交通省 東北地方整備局 河川部	河川計画課長	磯部 良太 (内線3611)	
		代表 022-225-2171	
		FAX 022-225-6094	

秋田県仙北市田沢湖田沢供養佛の土石流災害対応について

参考



国土交通省の支援状況 (平成25年8月22日時点)

- 専門家の派遣：8月10日国総研砂防研究室 蒲原室長、外1名による**技術的支援**
8月15日国総研砂防研究室 蒲原室長による**技術的支援**
- 災害応援：8月10日**災害対策本部車**派遣
- リエゾン派遣：8月9日から常時2名の**リエゾン派遣(仙北市)** (8月14日でリエゾン派遣終了、延べ12人・日)
- 防災ヘリ調査：8月9日及び10日上空から被災状況確認
- 崩壊地解析：LP(レーザープロファイラー)による地形計測を行い、崩壊前との比較を実施 (8月12日にデータ取得、8月14日解析結果)
- 斜面監視支援(8月14日～16日)：
[ハンディーカメラ 2台設置](#)、照明機器
[Ku-SAT 2台設置](#)
[TEC-FORCE\(情報機器設置\) 2名派遣](#)
[雨量計 1台設置](#)→8月16日17時から運用配信開始
- 調整会議：第1回情報連絡会 8月15日
第2回情報連絡会 8月22日
(国土交通省、秋田地方気象台、秋田県、仙北市、仙北警察署、角館消防署)



国総研 砂防研究室の専門家による現地調査を実施 (8月10日)

現地雨量計設置状況

【第1回】仙北市供養佛地区 土石流警戒避難に関する検討委員会

実施日 : 平成25年9月3日(火) 14時00分～ [事務局:秋田県]

場所 : 仙北市役所田沢湖庁舎

委員構成: 委員長 井良沢 道也 岩手大学農学部教授
 委員 蒲原 潤一 国土交通省国土技術政策総合研究所 砂防研究室長
 " 向井 幸雄 気象庁秋田地方気象台長
 " 門脇 光浩 仙北市長 (当日は代理出席)
 " 渡辺 雅人 秋田県総務部総合防災課長 (当日は代理出席)
 " 齋藤 春美 秋田県建設部参事 (当日は代理出席)
 " 佐藤 龍司 秋田県農林水産部森林整備課長
 " 栗林 直美 秋田県仙北地域振興局総務企画部長 (当日は代理出席)
 " 佐藤 和義 秋田県仙北地域振興局建設部長 (当日は代理出席)
 " 磯部 良太 国土交通省東北地方整備局河川計画課長
 " 平野 令緒 国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所長



技術的課題解決のため学識者の方々にも参画いただいた検討委員会を開催



検討委員会の模様

【検討委員会での確認事項等】

- 土砂災害の概要について
- 応急対策計画と警戒避難への対応について
- 避難準備と避難勧告の運用基準を設定

【避難判断基準(第1段階)】 → 避難準備情報の発表

- ① 時間雨量20mm 若しくは 累加雨量80mm
- ② または大雨警報(土砂災害)の発表

【避難判断基準(第2段階)】 → 避難勧告の発令

- ① 土砂災害警戒情報の発表
または
- ② 時間雨量20mm または 累加雨量80mmおよび
大雨警報(土砂災害)の発表

※ 避難準備情報の発表や避難勧告は仙北市が最終決定

【記者発表】 砂防災害関連緊急事業(直轄)による 緊急工事の実施について

【記者発表】 発表日:平成25年 9月17日(火) 14時00分

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

記者発表資料
水管理・国土保全局
砂防部保全課同時発表

平成25年9月17日
東北地方整備局河川部

秋田県仙北市田沢湖田沢供養佛地区における
土石流災害に対する緊急工事の実施について

秋田県仙北市田沢湖田沢供養佛地区において、平成25年8月9日豪雨により発生した甚大な土石流災害に対し、国土交通省東北地方整備局は再度災害防止を目的に、砂防災害関連緊急事業(直轄)による緊急工事を実施します。

【実施箇所】
秋田県仙北市田沢湖田沢供養佛地区

【実施内容】
砂防堰堤1基

(発表記者会) 宮城県記者会・秋田県記者会・東北電力記者会・東北専門記者会

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 河川部	磯部 良大(内線3611)
河川計画課長	代表 022-225-2171
	FAX 022-225-6094

秋田県仙北市田沢湖田沢供養佛で発生した土石流に対して
砂防災害関連緊急事業(直轄)を実施します

秋田県仙北市田沢湖田沢供養佛において、平成25年8月9日豪雨により発生した土石流に対して、緊急的に砂防堰堤の整備を実施します。(事業費:約4.3億円)



実施箇所
溪流名: 供養佛沢
被災家屋





○被害状況

- ・発生日時: 8月9日
- ・被害: 死者6名、負傷者2名
人家5戸全壊、1戸半壊

○対策概要

- ・砂防堰堤1基 (H=10m, L=118m)

○保全対象

- ・人家37戸
- ・市道先達線、市道供養佛線他



※対策工は詳細調査の結果により、今後変更の可能性があります。

【記者発表】 緊急工事に係る地元説明会の開催について

【記者発表】 発表日：平成25年 9月18日(水)

記者発表資料

平成25年9月18日
湯沢河川国道事務所

平成25年8月9日に発生した田沢湖田沢供養佛地区の土砂災害の緊急工事について、地元説明会を開催することをお知らせします。

- 日時：平成25年9月19日(木) 18時から
- 場所：先達町内会館(仙北市田沢湖田沢字供養佛 6-126)
- 会場位置図：下図参照



※発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢・角館支局

《問い合わせ先》

国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所

湯沢市関口字上寺沢 6 4 - 2
電話 0 1 8 3 - 7 3 - 5 5 4 4

調査第一課長

はたやま きくえい
畑山 作榮 (内線 3 5 1)

湯沢河川国道事務所HP URL
<http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>

緊急工事に係る地元説明会を開催

開催日 : 平成25年 9月19日(木) 16時00分～

出席者 : 【国土交通省湯沢河川国道事務所】 畑山調査第一課長、小林用地第一課長、
大西秋田駒ヶ岳山系砂防張所長 ほか
【仙北市】 佐々木農林部長、金谷建設部長、
千葉先達地区監視復旧センター長 ほか
【先達地区町内会等の方々】 下総町内会長 ほか34名



砂防堰堤工事の概要説明状況



地元説明会の状況



地元説明会の状況

■ 地元説明会の趣旨・内容

- ・再度災害防止を目的とした砂防災害関連緊急事業(直轄)が採択され、緊急工事の実施が決定
- ・災害復旧の事業計画に理解をいただくため、砂防事業実施の流れ及び供養佛地区における事業概要を説明
- ・砂防堰堤の早期完成を目指し、調査・設計・用地の全ての作業を同時並行で行うことについてのお願い
- ・緊急工事の早期着手を含めた土地への立ち入りのお願い

■ 地元説明会の総括

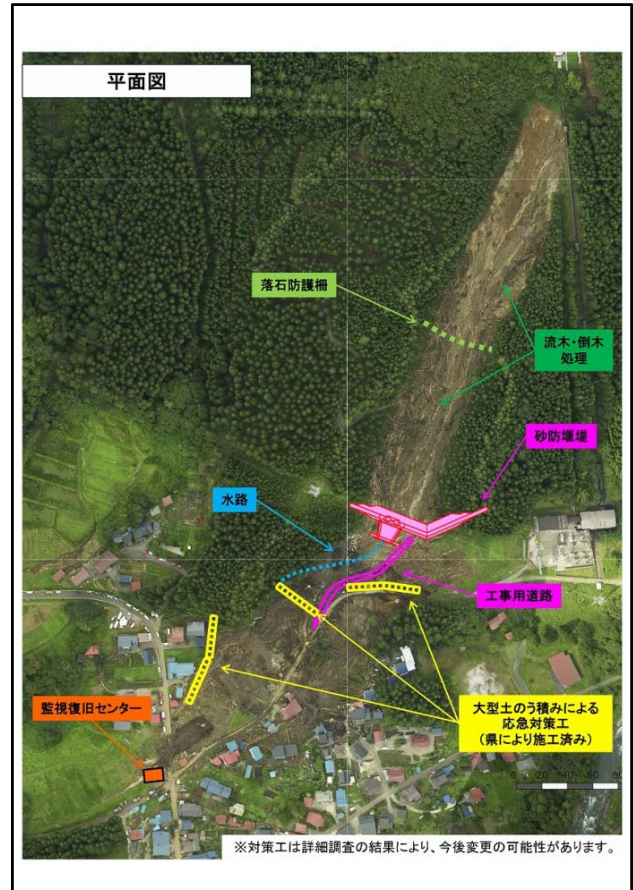
- ・事業説明および質疑応答の後、下総町内会長より出席者全員に対して事業計画並びに事業の進め方に対して理解・了解を確認し、了承された。

緊急工事に係る地元説明会を開催(続き)

◆ 配付資料(抜粋)

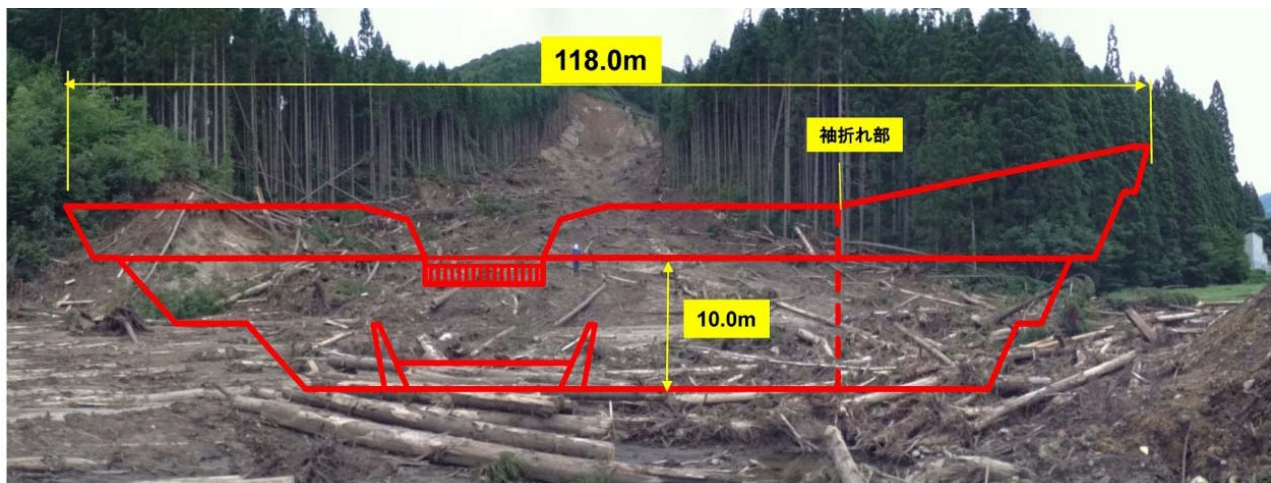


砂防事業実施の流れ



工事概要説明図

砂防堰堤整備イメージ



砂防堰堤整備イメージ図

【記者発表】 緊急工事着手のお知らせ

【記者発表】 発表日：平成25年 9月30日(月)

記者発表資料

平成25年9月30日
湯沢河川国道事務所

田沢湖田沢供養佛地区の緊急工事に着手します

8月9日に発生した田沢湖田沢供養佛地区の土砂災害について、10月1日より国による緊急工事に着手することをお知らせします。

- 日時：平成25年10月1日(火) 8時30分から
- 場所：仙北市田沢湖田沢字供養佛地先
- 当日の工事内容：工事用道路の造成（倒木処理、土砂搬出のため）
- 位置図：写真参照



■今後の予定

- 工事用道路の造成 (10月1日から7日)
- 倒木処理、土砂搬出 (10月8日～10月下旬)
- 落石防止対策 (10月中旬～10月下旬)
- 砂防堰堤本体の着手 (11月初旬)

※発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢・角館支局

《問い合わせ先》

国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所

湯沢市関口字上寺沢64-2
電話0183-73-5544

副所長 つちだ つねとし
 土田 恒年 (内線204)

調査第一課長 はたやま さくえい
 畑山 作栄 (内線351)

湯沢河川国道事務所HP URL
<http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>

緊急工事に着手

◆平成25年10月1日に緊急工事に着手

地元説明会後に地権者との用地交渉等を進めるとともに、現地測量等の準備期間を経て平成25年10月1日に緊急工事に着手。緊急工事は、砂防堰堤計画箇所までの工事用道路造成及び崩壊斜面から流出した流木や土砂の撤去から作業開始。



工事着手前の黙祷(8時30分)



大西秋田駒ヶ岳山系砂防出張所長による工事手順の説明



工事は工事用道路の施工から着手



砂防堰堤計画箇所までの工事用道路施工状況



崩壊斜面から流出した流木の撤去状況



崩壊斜面から流出した崩壊土砂の撤去状況

【記者発表】 台風26号接近を前に 崩壊斜面への大型土のう設置を前倒し施工

【記者発表】 発表日：平成25年10月15日（火）

記者発表資料

平成25年10月15日
湯沢河川国道事務所

田沢湖田沢供養佛地区の緊急工事 ～台風へ備え、崩壊斜面への大型土のう設置を前倒し～

8月9日に発生した田沢湖田沢供養佛地区の土砂災害について、10月1日より国による緊急工事に着手しています。
崩壊斜面に残る倒木の除去と落石防止のため、斜面中腹に大型土のうの設置を進めていましたが、明日、大型の台風26号の接近に伴い、県内でも大雨が心配されることから、大型土のうの設置(135袋)を1日前倒して本日夕方に完了させ、大雨に備えることとしました。

■工事進捗及び今後の予定

- ・ 2回/月のペースで工事進捗情報（別紙）を発行していくこととしています。
- ・ 本情報は、監視・復旧センターへの掲示及び事務所HPに掲載していきます。
- ・ 工用道路の造成は完了
- ・ 倒木及び土砂処理は全体の約75%が完了
- ・ 落石防止対策としては、仮設の大型土のう設置（延長約50m、2段積、135袋）を完了。
今後、落石防護柵を設置することとしています。
- ・ 砂防堰堤本体の着手は11月初旬を予定

※発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁

《問い合わせ先》

国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所
湯沢市関口字上寺沢64-2
電話0183-73-5544

調査第一課長 はたやま さくえい
畑山 作榮（内線）

湯沢河川国道事務所HP URL
<http://www.thr.mlit.go.jp/yu>

供養佛地区緊急工事の進捗情報

【平成25年10月1日～15日】

No.1

【作成・連絡先】 国土交通省湯沢河川国道事務所 秋田県ヶ岳山系砂防出張所
TEL:0187-46-2681

10月1日より国による緊急工事に着手しました。
10月1日から15日の工事状況は以下のとおりです。
今後も定期的に工事の進捗状況をお知らせしてまいります。（次回は11月5日の予定）

■進捗状況および今後の予定

平成25年10月1日から15日までの工事状況 および 今後の予定

工用道路の造成	完了
倒木および土砂処理	75%完了
落石対策(土のう設置)	完了(延長約50m、2段積、135袋) ※今後、落石防護柵を設置します
砂防本体工事	11月初旬着手予定

■工事状況



斜面に残る倒木の処理状況



大型土のう設置が完了(延長約50m、2段積、135袋)

工事進捗をお知らせするチラシ

緊急工事に関する情報提供（先達町内全戸に配布）

作成日：平成25年10月23日（水）

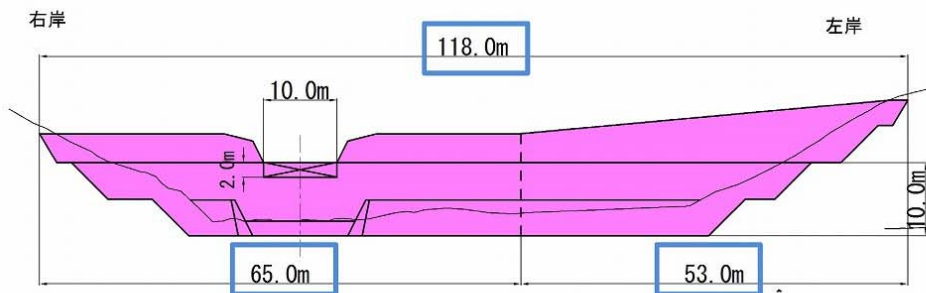
湯沢河川国道事務所

■砂防堰堤の幅の長さを変更となりました

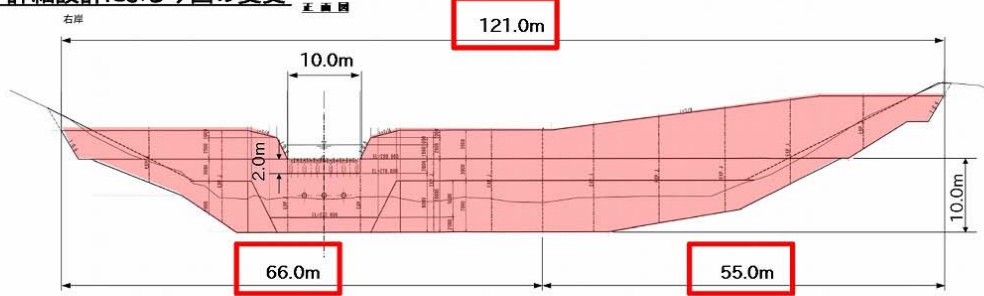
○詳細設計により、当初の118mから121mへ、3mの延長となりました

※幅の長さ以外、構造に大きな変更はありません

9/19説明会資料の一部抜粋より



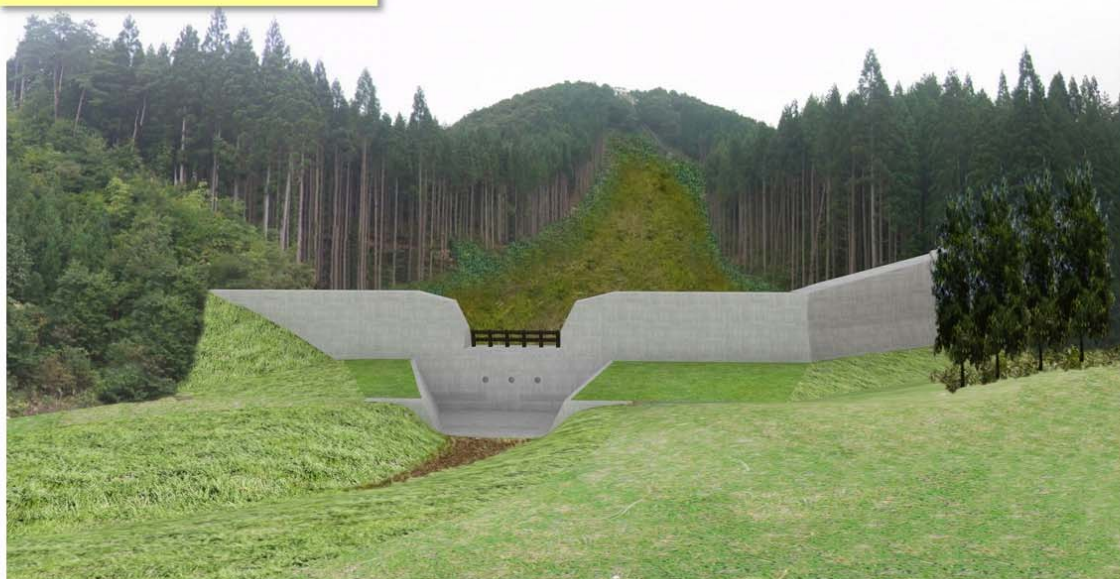
詳細設計による今回の変更



■砂防堰堤の完成イメージを作成しました

○あくまでもイメージ図であることをご了承下さい

砂防堰堤完成イメージ図



■崩壊地上部の現地を確認しました

○地質専門家と国交省担当者による現地調査(平成25年9月30日)

【調査ルート】



【調査実施者】

地質専門家 1名
国交省担当者 8名

【調査結果】

・崩壊地の上部に、亀裂等の変状や、直ちに崩壊の恐れのある地形は確認されませんでした



【参考】秋田県による現地調査(平成25年9月3日、土石流警戒避難に関する検討委員会資料より一部抜粋)

Ⅲ 未崩壊斜面の状況

未崩壊斜面や周囲の状況は以下のとおりである。

- 1) 滑落崖上部、左右の未崩壊斜面に亀裂等の変状は認められない。
- 2) 発電所施設(調節池)の壁面痕跡は、排水呑口までしか上昇していない。
- 3) 滑落崖の上部斜面で、電線を内挿するポリエチレン製保護管(直径15cm程度)及び地山が約3m程度露出している。



図 4.8 未崩壊部の写真位置図(平成25年8月10日秋田県撮影)



写真Ⅲ-① 滑落崖上部斜面に変状は認められない。



写真Ⅲ-② 左側部斜面に変状は認められない。



写真Ⅲ-③ 右側部斜面に変状は認められない。



写真Ⅲ-④ 滑落崖上部斜面中に認められる、電線保護管と地山の露出。黄色破線が崩壊前に埋設されていたと考えられるくぼみ。崩壊地で引っ張られ曲部で跳ね上がったと考えられる。



写真Ⅲ-⑤ 調節池の泥水痕跡は、洪水吐きの呑口まで上昇したが、越流は確認できない。

砂防堰堤本体着手にあたって 施工業者主催により工事の安全を祈願

実施日 : 平成25年10月25日(金) 11時00分～

実施場所 : 供養佛沢砂防堰堤施工現場



施工業者主催で安全祈願



安全祈願の状況



先達地区下総町内会長による玉串拝礼



仙北市田邊副市長の挨拶

東北管内地方公共団体技術職員による現地検討会

実施日 : 平成25年11月5日(火) 13時00分～

メンバー : 【青森県】1名 【宮城県】2名 【秋田県】3名 【山形県】1名 【福島県】2名
【国土交通省東北地方整備局】3名



参加者への概要説明状況



土石流氾濫範囲の説明状況



崩壊斜面上部の状況



現地での意見交換



崩壊斜面頂部の状況確認

東北地方整備局の災害危機管理セミナーにおける現地検討会

実施日 : 平成25年11月13日(水) 13時00分～

メンバー : 【国土交通省東北地方整備局】9名



参加者への概要説明状況



被災当時の状況説明



意見交換会の状況



冬期施工の留意点や進捗状況等を説明

【第2回】仙北市供養佛地区 土石流警戒避難に関する検討委員会

実施日 : 平成25年11月28日(木) 13時00分～ [事務局:秋田県]

場所 : 仙北市役所田沢湖庁舎

委員構成 : 委員長 井良沢 道也 岩手大学農学部教授
委員 蒲原 潤一 国土交通省国土技術政策総合研究所 砂防研究室長
" 向井 幸雄 気象庁秋田地方気象台長
" 門脇 光浩 仙北市長
" 渡辺 雅人 秋田県総務部総合防災課長 (当日は代理出席)
" 齋藤 春美 秋田県建設部参事 (当日は代理出席)
" 佐藤 龍司 秋田県農林水産部森林整備課長 (当日は代理出席)
" 栗林 直美 秋田県仙北地域振興局総務企画部長 (当日は代理出席)
" 佐藤 和義 秋田県仙北地域振興局建設部長 (当日は代理出席)
" 磯部 良太 国土交通省東北地方整備局河川計画課長
" 平野 令緒 国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所長 (当日は代理出席)



検討委員会の模様



検討委員会終了後の記者会見

【検討委員会での確認事項等】

- 情報提供: 緊急工事の進捗状況について
- 第1回検討委員会の指摘事項への対応について
- 8/9豪雨による災害の概要について
- 災害時の気象状況について
- 土石流の実態と特性
- 警戒避難体制の検討

※ 避難判断基準(第1段階)を超過した事例があるものの、
現地での変状や土砂移動が確認されていないことや、
砂防堰堤が未完成であり、物理的な安全度が向上して
いないため見直さないこととなった。

【記者発表】 災害対策支部警戒体制を注意体制に移行

【記者発表】 発表日：平成25年12月4日（水） 8時30分

記者発表資料

平成25年12月4日
湯沢河川国道事務所

田沢湖供養佛地区土砂災害の冬季対応を実施 ～災害対策支部警戒体制を注意体制に移行～

8月9日の豪雨に伴い、同日9時に国交省湯沢河川国道事務所は災害対策支部警戒体制（砂防）とし、10月1日から緊急工事に着手、同25日には砂防堰堤本体工事のための掘削工事に着手するなど、鋭意緊急工事を進めているところです。

今般、落石防護を目的として、崩壊斜面中腹に大型土のうの仮設置（10月15日完了）及び落石防護柵の設置（11月9日完了）を行い、積雪に備え監視カメラの移設（12月3日完了）が完了したことから、災害対策支部警戒体制（砂防）を注意体制に移行することとしました。引き続き、砂防堰堤本体の完成に向けて工事を進めて参ります。

《雪崩対応について》
崩壊斜面と宅地の間を通る市道供養佛線、仮設土のう（市道と斜面に設置）、落石防護柵で防護する考えです

《主な経過》

8月 9日 9時 災害対策支部警戒体制（砂防）を設置
※11時35分災害発生
15日 衛星小型画像伝送装置（Ku-SAT）により映像配信
16日 供養佛臨時雨量計を設置し、警戒アラーム配信

9月17日 国による緊急工事を表明
18日 緊急工事についての地元説明会を開催

10月1日 緊急工事に着手
15日 崩壊斜面に仮設の大型土のう設置完了
25日 砂防堰堤本体工事に着手

11月9日 落石防護柵設置完了
12月3日 積雪対策として監視カメラ移設完了

12月4日 8時30分 災害対策支部を注意体制（砂防）移行

※発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢・角館支局

《問い合わせ先》

がんばろう！東北 平成25年8月9日9時30分 湯沢河川国道事務所

大雨による防災情報（第1報）

湯沢河川国道事務所
災害対策支部【警戒体制（砂防）】

湯沢河川国道事務所では、八幡平山系秋田県側（仙北市田沢湖生保内地区）の雨量観測所の時間雨量が40mm以上を観測し土砂災害の発生を恐れ、8月9日9時00分に災害対策支部警戒体制（砂防）を設置しました。降雨の状況を見て、当該砂防施設の巡視点検を実施する予定です。

◆砂防設備状況（8月9日9時00分現在）

山系	雨量観測所（山名型）	連続雨量	時間雨量（mm/h）
八幡平山系（秋田県側）	黒湯	98mm	95mm
八幡平山系（秋田県側）	熊ノ台	81mm	57mm
八幡平山系（秋田県側）	小先達	111mm	74mm

◆災害支部体制

砂防	注意体制	警戒体制	注意体制	解除
砂防	-	8月9日9時00分	-	-

◆その他
今後の防災情報にご注意ください。

発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢・角館支局

《問い合わせ先》
国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所
秋田県湯沢市白土字上野沢6-4-2
TEL 0183-73-3174（事務所代表）
建設専門室 中村 俊一（内線402）

平成25年8月9日 記者発表

田沢湖田沢供養佛地区 災害関連緊急工事 冬季対応

国土交通省東北地方整備局
湯沢河川国道事務所



【記者発表】 緊急工事の砂防堰堤本体施工着手

【記者発表】 発表日：平成25年12月9日（月）

記者発表資料

平成25年12月9日
湯沢河川国道事務所

田沢湖田沢供養佛地区の緊急工事進捗状況 ～砂防堰堤本体工事（コンクリート打設）に着手～

8月9日に発生した田沢湖田沢供養佛地区の土砂災害について、10月1日より国による緊急工事に着手し、倒木処理等を行ってきました。同月25日には、砂防堰堤本体工事（掘削）に着手、12月3日からは一部、コンクリート打設にも着手しております。

引き続き、砂防堰堤本体の完成に向けて工事を進めて参ります。

《参考資料》

工事の進捗情報 NO.4



※当事務所HPの「田沢湖田沢供養佛地区災害関連情報」のバナーから、工事の進捗状況など、当該災害に関する情報を一元的に公開しています

※発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢・角館支局

《問い合わせ先》

国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所

湯沢市関口字上寺沢64-2
電話0183-73-5544

副所長	つちだ 土田 恒年（内線204）
調査第一課長	はたやま 畑山 さくえい 作栄（内線351）

湯沢河川国道事務所HP URL
<http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>

【記者発表】 工事の一時休止について

【記者発表】 発表日：平成25年12月27日（金）

記者発表資料

平成 25 年 12 月 27 日
湯沢河川国道事務所

田沢湖田沢供養佛地区の緊急工事進捗状況 ～ 一時工事休止し、年明け3月中旬に再開へ ～

8月9日に発生した田沢湖田沢供養佛地区の土砂災害について、10月1日より国による緊急工事に着手し、12月3日からはコンクリート打設を進めているところです。

11月11日の初冠雪以降、現地では度々降雪にみまわれ、12月27日8時現在で積雪が33cmを記録しております。

今後の工事については、コンクリート打設を26日で年内予定分を終了し、30日をもって一時工事休止期間に入ります。工事の再開は3月中旬を予定しております。

《参考資料》

工事の進捗情報 NO.5



※当事務所HPの「田沢湖田沢供養佛地区災害関連情報」のバナーから、工事の進捗状況など、当該災害に関する情報を一元的に公開しています

※発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢・角館支局

《問い合わせ先》

国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所

湯沢市関口字上寺沢64-2
電話0183-73-5544

副所長

つちだ つねとし
土田 恒年（内線204）

調査第一課長

はたやま さくえい
畑山 作栄（内線351）

湯沢河川国道事務所HP URL
<http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>

冬期監視体制および安全管理基準

■冬期監視体制

※平成25年12月28日～平成26年3月9日まで(工事休止期間中)

区分	通常時	安全管理基準における作業中止等発令基準相当となった場合	備考
発注者	<ul style="list-style-type: none"> ・ CCTVによる積雪斜面の亀裂等を含む現場全体の監視 	以下の場合に現地巡視を行う <ul style="list-style-type: none"> ・ 震度4以上の地震発生時 ・ 積雪斜面の亀裂発生時 ・ 土砂移動管理杭の測定で移動進行が確認された場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 斜面等に異常があった場合は、仙北市に情報提供
受注者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積雪深の測定 ・ 積雪斜面の状態監視(目視確認) ・ 土砂移動管理杭測定(1回/日) 	以下の場合に現地巡視を行う <ul style="list-style-type: none"> ・ 震度4以上の地震発生時 ・ 積雪斜面の亀裂発生時 また、土砂移動管理杭の測定で移動進行が確認された場合は状況把握のために3回/日に測定を行う(9, 12, 17時)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 斜面等に異常があった場合は、仙北市に情報提供

■安全管理基準

※平成25年10月1日～12月27日及び平成26年3月10日～6月27日まで

区分	作業中止等発令基準	作業再開基準	備考
一時中止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間雨量が10mmまたは連続雨量50mm以上 ・ 土砂移動管理杭の移動が5mm以上を測定(作業開始前・正午・作業終了時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6時間連続降雨が無く、目視点検でも異常が認められない場合 ・ 土砂移動管理杭の定時測定で移動が認められず、目視点検でも異常が認められない場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 斜面等に異常があった場合は、仙北市に情報提供
中止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気象庁が大雨警報(土砂災害)を発令 ・ 時間雨量20mmまたは連続雨量80mm以上 ・ 土砂移動管理杭の移動が10mm以上を測定(作業開始前・正午・作業終了時) ・ 震度4以上の地震発生時 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気象庁が大雨警報(土砂災害)を解除 ・ 24時間連続で降雨が無く、目視点検でも異常が認められない場合 ・ 土砂移動管理杭の定時測定で移動が認められず、目視点検でも異常が認められない場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気象情報及び雨量は仙北市による避難判断の目安 ・ 斜面等に異常があった場合は、仙北市に情報提供
緊急避難	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警報器(ワイヤーセンサー)が点灯 ・ 土砂移動管理杭の移動が20mm以上を測定(作業開始前・正午・作業終了時) ・ 発注者または受注者が目視により斜面及び斜面雪面部において亀裂を確認した場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地状況を確認の上、発注者と受注者が協議する ・ 土砂移動管理杭の定時測定結果をもって発注者と受注者が協議する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 斜面等に異常があった場合は、仙北市に情報提供 ・ 工事休止期間はワイヤーセンサーを取り外す

積雪状況および冬期監視状況

■ 積雪状況

- ・斜面における積雪状況を把握するため、現場事務所構内において積雪深観測を実施。
- ・平成25年12月11日から観測開始し、平成26年4月8日に積雪深が0cmとなった。



供養佛地区における積雪深



現地全景 (平成26年1月31日撮影)



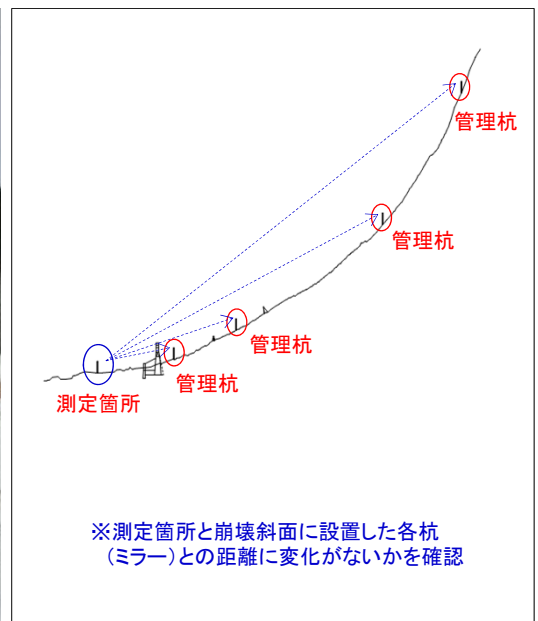
現場事務所構内の積雪観測箇所

■ 冬期監視状況

- ・目視点検により崩壊斜面における亀裂発生等の変化の有無を確認するとともに、土砂移動管理杭により崩壊斜面に変状がないか監視を実施
- ・幸いにも斜面変状等の異常は確認されなかった。



崩壊斜面の測定監視状況



測定監視の概念図

【第3回】土石流警戒避難に関する情報連絡会

実施日 : 平成26年3月3日(月) [事務局:秋田県]

場所 : 仙北市役所田沢湖庁舎

メンバー : 【秋田県建設部】 鈴木副主幹、佐々木副主幹 ほか
【秋田県仙北地域振興局】 高橋課長、高杉副主幹
【仙北市市民生活部】 羽川部長、加古危機管理監
【仙北市農林部】 佐々木部長、後藤次長
【仙北市建設部】 金谷部長、武藤次長
【国土交通省湯沢河川国道事務所】 畑山調査第一課長 ほか



関係機関による情報連絡会を開催

【情報連絡会での確認事項等】

■直轄による災害関連緊急工事の進捗状況について

- ・3月中旬の工事再開を予定
- ・6月末までの砂防堰堤完成を目標
- ・斜面監視の結果、これまで変状は確認されていない

■融雪期における警戒避難基準の目安について

- ・融雪期の設定と融雪期の警戒避難基準の設定を行った



湯沢河川国道事務所による工事進捗状況等報告

【記者発表】 工事の再開について

【記者発表】 発表日：平成26年3月7日（金）

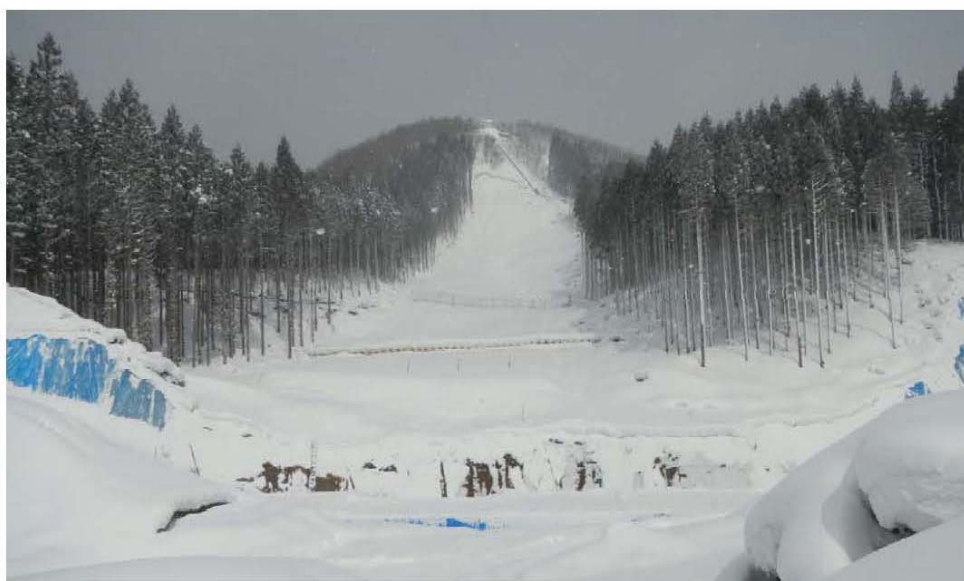
記者発表資料

平成 26 年 3 月 7 日
湯沢河川国道事務所

田沢湖田沢供養佛地区の緊急工事進捗状況 ～ 3月10日から工事再開 ～

昨年8月9日に発生した田沢湖田沢供養佛地区の土砂災害について、10月1日より国による緊急工事に着手し、12月26日に年内予定のコンクリート打設を終了、12月30日より一時工事休止期間に入っていました。

3月7日現在、当地区の積雪は113cmを記録しておりますが、砂防堰堤の早期完成に向け、3月10日より現場内の除雪作業を開始し、6月内までの完成を目指します。なお、コンクリート打設は除雪等の作業が終了次第、翌週から再開予定です。



(平成 26 年 3 月 6 日 現在)

※発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢・角館支局

《問い合わせ先》

国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所

湯沢市関口字上寺沢64-2
電話0183-73-5544

副所長	つちだ 土田	つねとし 恒年（内線204）
調査第一課長	はたやま 畑山	さくえい 作栄（内線351）

湯沢河川国道事務所HP URL
<http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>

【記者発表】 供養佛沢砂防堰堤完成式を挙行

【記者発表】 発表日：平成26年6月16日（月）

記者発表資料

平成26年6月16日
秋田県
仙北市
湯沢河川国道事務所

「供養佛沢砂防堰堤完成式」を挙行 ～国直轄により早期完成～

秋田県仙北市田沢湖田沢供養佛地内において、平成25年8月9日豪雨により発生した土砂災害に伴い、再度災害防止を目的に、これまで工事を進めて参りました「供養佛沢砂防堰堤」がこの度完成します。

つきましては、以下のとおり完成式典を挙行しますのでお知らせします。

【式典概要】

1. 開催日時：平成26年6月29日（日）11:00～11:40
2. 開催場所：秋田県仙北市田沢湖田沢供養佛地内（別添資料参照）
3. 主催：秋田県、仙北市、国土交通省湯沢河川国道事務所
4. 案内等：別添資料のとおり

※天候等により、式典が中止となることもあります（小雨決行）

湯沢河川国道事務所HP URL (<http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>)

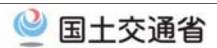
※発表記者会：秋田県記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢・角館支局

□問い合わせ先

秋田県建設部河川砂防課
電話 018-860-2511（調整・企画管理班直通）
主幹（兼）調整・企画管理班長 酒井 不二彦
仙北市建設部建設課



秋田県仙北市供養佛地区における大規模土砂災害への対応



秋田県仙北市田沢湖田沢供養佛地区において、平成25年8月9日の豪雨により発生した土石流に対して、緊急的に砂防堰堤の整備を実施。（災害関連緊急事業費：約4.3億円）平成26年6月内までの完成を目指し、鋭意施工中。



※本資料の写真等のデータ提供は可能です

◆災害発生から工事実施までの経過

日時	内容
平成25年 8/9	災害発生
8/10	国土交通省国土技術政策総合研究所による現地調査の実施（仙北市長へ調査結果の説明、記者会見）
8/15	土石流警戒避難に関する情報連絡会（第1回）
8/20～9/2	秋田県による応急対策工事の実施
9/19	緊急工事に関する地元説明会の開催
10/1	砂防堰堤の緊急工事に着手
12/3	砂防堰堤本体のコンクリート打設開始
平成25年 12/30 平成26年 ～3/9	積雪のため工事一時休止
5/30	主堰堤のコンクリート打設完了
6月末	前庭保護工の施工完了（予定）

■災害概況
発災日時：平成25年8月9日
被害状況：死者6名、負傷者2名
人家6棟全半壊

■対策概要
砂防堰堤1基

■保全対象
人家37戸、市道2線

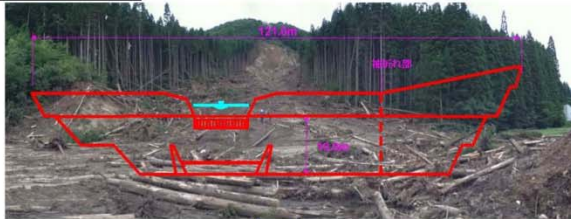


【記者発表】 供養佛沢砂防堰堤完成式を挙行(続き)

供養佛沢砂防堰堤の概要と効果



砂防堰堤着手前



砂防堰堤整備状況 (H26.5.30)



砂防堰堤正面を下流側から撮影



砂防堰堤上流側を左岸側から撮影

■施設による効果

崩壊地に残存する不安定な土砂や流木が、降雨により再び流出した場合でも、全量を砂防堰堤で捕捉することが可能。

■砂防堰堤諸元

堤高: 10m 【不透過部(コンクリート)8m、透過部(鋼製)2m】
堤長: 121m

■保全対象

人家37戸、市道2線

■施設効果量

整備土砂量: 9,569m³ ➡ 概ね4トラックで約300台分の量
整備流木量: 108m³ ➡ 概ね長さ7m、直径0.25mの流木670本分

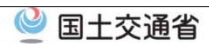
■今後の予定

砂防堰堤上部の崩壊斜面における法面対策工事、及び砂防堰堤下流における水路の整備工事を、平成26年積雪期までに実施する予定。



崩壊地、保全対象、砂防堰堤を上空から撮影(H26.6.4)

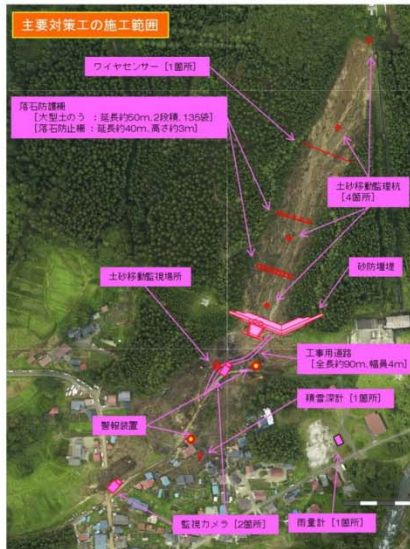
供養佛沢砂防堰堤工事における特徴



◆工事の安全管理の取り組み

不安定な土砂が残存する崩壊斜面直下での工事となることから、二次災害が発生しないよう安全管理には万全を期した。

- ①雨量計の設置・観測
- ②ワイヤーセンサーの設置による土砂流出の監視(警報装置設置)
- ③土砂移動監視杭の設置による土砂移動の観測(1日3回)
- ④監視カメラの設置・監視
- ⑤冬期間における積雪計の設置・監視
- ⑥落石防止のための大型土のう、防護柵の設置
- ⑦工事の安全管理基準の設定(①と③による)



◆早期完成に向けた取り組み

再び土砂と倒木が流出することが懸念されたことから、地域の安心・安全の確保には早期の工事着手・完成が急務であり、調査測量や設計、工事の工期短縮に最大限努力した。

- ①調査着手から約1ヶ月の短期間で、工事内容の地元説明会開催
※調査着手8月23日、地元説明会開催9月19日
- ②施工方法の工夫
- ③冬期間においても、可能な範囲で作業用除雪を行い工事を進捗

～工事着手から主堰堤完成まで約6ヶ月で実施～
(積雪による一時中止期間を除く)



工事に係る地元説明会 (H25.9.19)



施工状況

供養佛沢砂防堰堤完成式を開催

実施日 : 平成26年6月29日(日) 11時00分～11時40分

実施場所 : 供養佛沢砂防堰堤施工現場

平成26年6月27日に砂防堰堤本体の施工が完了し、6月29日には秋田県、仙北市、湯沢河川国道事務所の共催で供養佛沢砂防堰堤完成式を開催。佐竹秋田県知事、門脇仙北市長などの関係者のほか、地域住民の方々や国会議員など約60人が出席。

砂防堰堤整備状況
(H26.6.29撮影)



■佐竹知事 挨拶(要旨)

太田大臣から国が自ら対策に取り組むというお言葉を頂き、本格的な梅雨を前に災害発生から1年を経ずして堰堤が完成しました。国土交通省に厚く感謝申し上げます。

県としてもハード整備とともに、土砂災害危険箇所の情報と避難対応について住民を対象とした説明会を実施しているところ。供養佛沢においては、5月29日には県内初となる土砂災害危険看板を設置。秋田県ではこの土砂災害を教訓にハード・ソフト両面から、土砂災害対策に全力で取り組んでいく所存です。



完成式の模様



黙祷



湯沢河川国道事務所長による工事経過報告



町内会長による「地域の声」

【第3回】仙北市供養佛地区 土石流警戒避難に関する検討委員会

実施日 :平成26年7月2日(水) 13時00分～ [事務局:秋田県]

場 所 :仙北市役所田沢湖庁舎

委員構成:委員長 井良沢 道也 岩手大学農学部教授
委員 蒲原 潤一 国土交通省国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部砂防研究室長
" 岩尾 尊徳 気象庁秋田地方気象台長
" 門脇 光浩 仙北市長
" 渡辺 雅人 秋田県総務部総合防災課長参事(当日は代理出席)
" 吉尾 成一 秋田県建設部参事(兼)河川砂防課長
" 佐藤 龍司 秋田県農林水産部森林整備課長(当日は代理出席)
" 貝田 理 秋田県仙北地域振興局総務企画部長
" 深井 力 秋田県仙北地域振興局建設部長
" 磯部 良太 国土交通省東北地方整備局河川計画課長
" 平野 明徳 国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所長



検討委員会の模様



井良沢委員長の挨拶

【検討委員会での確認事項等】

- 第2回検討委員会の指摘事項への対応
- 融雪期の注意喚起目安の運用について
- 融雪期の気象状況について
- 供養佛地区における避難判断基準の見直し
※砂防堰堤の完成を受け、供養佛地区に特別に設定していた避難判断基準の運用解除が決定
- 警戒避難体制に関する取組み
- 委員会報告書(案)について

【記者発表】 災害対策支部注意体制を解除

【記者発表】 発表日：平成26年7月16日（水）

記者発表資料

平成 26 年 7 月 16 日
湯沢河川国道事務所

仙北市供養佛地区の土砂災害に伴う 災害対策支部注意体制（砂防）を解除 ～砂防堰堤本体の完成など災害対応を完了～

平成25年8月9日の豪雨に伴い、同日9時に国交省湯沢河川国道事務所は災害対策支部警戒体制（砂防）とし、平成25年10月1日から砂防堰堤の緊急工事に着手、平成26年6月27日に砂防堰堤本体が完成したところです。

このため、災害対策支部注意体制（砂防）を解除することとしました。

※7月10日、11日の台風8号の接近に伴う前線による降雨においては、連続雨量114mmを記録しましたが、異常は確認されませんでした。

《主な経過》

平成 25 年

8 月 9 日 9 時 災害対策支部警戒体制（砂防）を設置

※ 1 1 時 3 5 分 災害発生

1 0 月 1 日 緊急工事に着手

1 2 月 3 日 砂防堰堤本体のコンクリート打設開始

1 2 月 4 日 8 時 3 0 分 災害対策支部を注意体制（砂防）移行

平成 26 年

5 月 3 0 日 主堰堤のコンクリート打設完了

6 月 2 7 日 砂防堰堤本体完成

7 月 1 6 日 1 0 時 3 0 分 災害対策支部を注意体制（砂防）解除

※発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢・角館支局

《問い合わせ先》

国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所

湯沢市関口字上寺沢 6 4 - 2

電話 0 1 8 3 - 7 3 - 5 5 4 4

副 所 長

さとう のりお

佐藤 徳男 （内線 2 0 4）

調査第一課長

はやし まさひろ

林 将宏 （内線 3 5 1）

湯沢河川国道事務所HP URL

<http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>

事務所ホームページにおける情報提供

■雨量観測データや記者発表、工事の進捗状況等の情報を一元的に公開（平成25年10月1日～）



湯沢河川国道事務所事務所HP トップページ

<http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/J75201/index.html>

記者発表

平成 25 年 12 月 9 日
湯沢河川国道事務所

**田沢湖田沢供養佛地区の緊急工事進捗状況
～砂防堰堤本体工事（コンクリート打設）に着手～**

8月9日に発生した田沢湖田沢供養佛地区の土砂災害について、10月1日より順次緊急工事に着手し、倒木処理等を行いました。同日25日には、砂防堰堤本体工事（常時）に着手し、12月3日からは一部、コンクリート打設にも着手しております。引き続き、砂防堰堤本体の完成に向けて工事を進めてまいります。

〔参考資料〕
工事の進捗情報 NO.4

※当事務所HPの「田沢湖田沢供養佛地区災害関連情報」のページから、工事の進捗状況など、当該災害に関する情報を一元的に公開しています。

発表者名義：秋田県記者会、機手記者会、秋田新聞社大曲・湯沢・内館支局

《問い合わせ先》
国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所
湯沢市関口字上寺沢6-4-2
電話 0183-73-5544

副所長 土田 恒年（内線204）
副所長 橋本 光史（内線351）
調査第一課長 畑山 作栄（内線351）

湯沢河川国道事務所HP URL
<http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>

土砂災害概要

平成25年8月9日
秋田県仙北市田沢湖田沢地先
で発生した土砂災害の概要
(平成25年10月15日現在)

位置図

田沢湖田沢地先

田沢湖田沢地先

田沢湖田沢地先

田沢湖田沢地先

地元説明等資料

砂防えん堤ができるまで

- えん堤の計画
- 計画の説明（土地立入り期）
- 測量・地盤調査
- えん堤の設計
- 設計の説明
- 用地申請設置
- 用地の調査
- 用地価格の説明（契約・支払い）
- 工事の説明
- 工事
- えん堤の完成

田沢湖田沢供養佛地区 災害関連情報

供養佛地区緊急工事の進捗情報

【平成25年12月27日】田沢湖田沢供養佛地区の緊急工事進捗状況～一時工事休止し、年明け3月中旬に再開へ～【PDF:482KB】

【平成25年12月04日】田沢湖田沢供養佛地区の緊急工事進捗状況～砂防堰堤本体工事（コンクリート打設）に着手～【PDF:717KB】

【平成25年12月04日】田沢湖田沢供養佛地区の緊急工事進捗状況～災害対策支那管政体を工事現場に搬入～【PDF:382KB】

【平成25年10月15日】田沢湖田沢供養佛地区の緊急工事～台風に備え、崩壊対策への大型土のう設置を前倒し～【PDF:332KB】

【平成25年09月30日】田沢湖田沢供養佛地区の緊急工事に着手します【PDF:249KB】

平成25年8月9日に発生した田沢湖田沢供養佛地区の土砂災害の緊急工事について、地元説明会を開催することをお知らせします。【PDF:179KB】

【平成25年09月18日】秋田県仙北市田沢湖田沢供養佛地区における土石流災害に対する緊急工事の再開について【PDF:305KB】

【平成25年08月22日】秋田県仙北市田沢湖田沢供養佛地区における土石流災害への対応について【PDF:433KB】

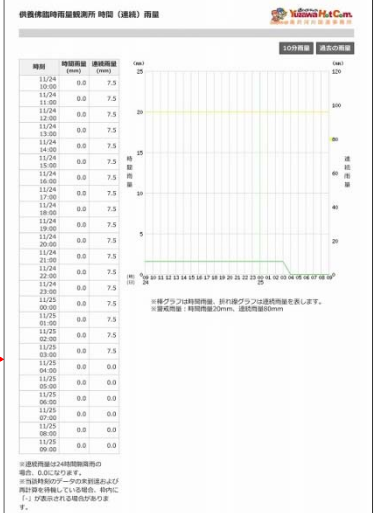
供養佛地区雨量観測所 観測データ

記者発表

地元説明等資料

平成25年8月9日発生した土砂災害概要

雨量観測データ



工事進捗情報

供養佛地区緊急工事の進捗情報
【平成26年5月1日～5月30日】 №11

(形式：通常) 国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所 仙北市建設課 建設課長 橋本 光史 TEL: 0187-46-2001

昨年10月1日より順次緊急工事に着手し、冬期間の工事一時中止を経て3月10日に工事を再開しています。
5月30日までの工事状況は以下のとおりです。
今後も定期的な工事の進捗状況をお知らせしてまいります。（次回は6月下旬予定）

■進捗状況および今後の予定

工事着手から平成26年5月30日までの工事状況

工事着手	平成25年10月1日
工事再開の連続	完了
倒木および土砂処理	完了
落石対策（崖脚防止兼用）	暫時的に、設置完了（延長約30m、2階層、135巻） 落石防護網、設置完了（延長約40m、高さ約3m）
堰体工事	10月25日より堰体を開始し、11月27日に完了
地盤改良工事	11月23日より着手し、12月1日に完了
砂防堰堤	12月18日より開始し、3月14日に完了
本体工事	12月20日より着手し、12月20日から一時中止 3月20日よりコンクリート打設を開始 5月30日現在で堰体部から約14mの高さまで打設完了 堰体率は約80%

■工事状況

堰体工事 平成26年5月30日現在

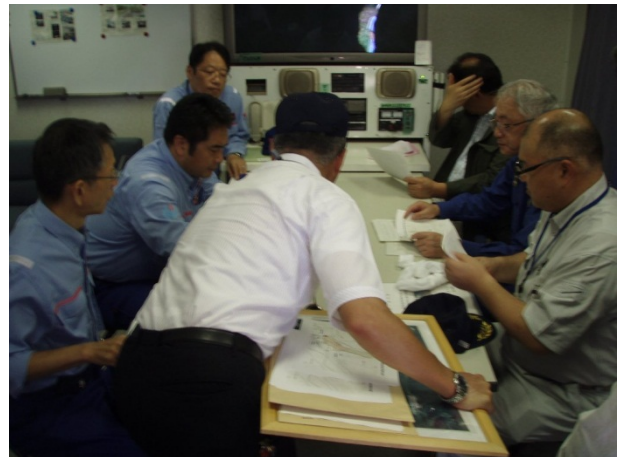
- ◆ 供養佛地区における災害関連情報を一元的に把握できるよう、湯沢河川国道事務所ホームページに専用サイトを設置
- ◆ 専用サイトにスムーズに案内できるようトップページの最上段へバナーを設置
- ◆ 雨量情報については、一定値を超過した場合に国・県・市などの関係者のほか、地域住民の代表の方々への携帯メール配信されるシステムを採用して情報提供を実施

国土交通省の支援活動

◆ 災害発生現場へ災害対策本部車※を配備



災害対策本部車の配備（平成25年8月10日～9月12日）

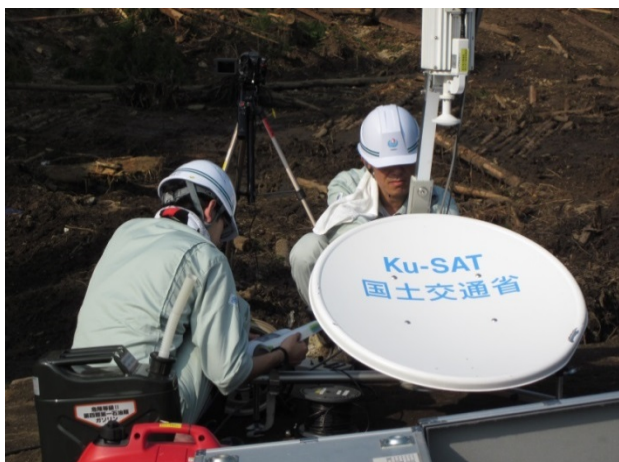


国土省調査団による現地調査時の会議（災害対策本部車内）

※災害対策本部車

災害発生時に、災害現場における情報収集、応急対応の対策検討や現場指揮などの現地対策本部機能をもつ車両で、会議用設備や情報収集設備などを備えている

◆ TEC-FORCE※によるKu-SAT※設置及び現地映像の配信



TEC-FORCEによるKu-SAT設置作業



高感度カメラにより夜間監視も可能に



仙北市・秋田県へ現地映像を配信

- ・ 供養佛地区に2台の監視カメラを設置。Ku-SAT を活用して現地から動画配信を開始（平成26年8月15日16時30分）
- ・ 平成26年8月24日には1台を高感度カメラに変更し、平成26年9月12日には光ケーブル回線による配信に切替え

※TEC-FORCE（国土交通省緊急災害対策派遣隊）

大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、地方自治体からの要請に基づき迅速に出動し、被災状況の迅速な把握、被害の発生・拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援を行う

※Ku-SAT（衛星小型画像伝送装置）

災害等の発生時に被災状況や復旧作業状況等の現地画像（動画）情報を衛星を経由してリアルタイムで伝送する装置

国土交通省の支援活動

◆みちのく号※による上空からの被災状況調査



防災ヘリ「みちのく号」による崩壊地等調査(8/9,10)



崩壊斜面上部から被災地域等下流側を撮影

※みちのく号(国土交通省所有の防災ヘリコプター)

河川、海岸、道路等、施設の大規模災害に際して、災害の軽減、早急な災害復旧を図るため即時・広域情報の収集・伝達等を行うほか、施設管理、施設計画・調査等を効率的に行うこと等を目的として配備されているヘリコプター

◆ 臨時雨量計・ワイヤーセンサー※の設置、Webによる情報配信



被災箇所近傍の一時避難場所に臨時雨量計を設置



崩壊地中腹にワイヤーセンサーを設置



警報装置

ワイヤーセンサーと連動した警報装置

・供養佛地区の一時避難場所(田沢湖先達文化センター西側グラウンド)に臨時雨量計を設置し、平成26年8月16日17時から運用開始。8月29日には同一箇所に副雨量計を増設。雨量データはWebにてリアルタイムデータを公開。

・崩壊斜面下流側での作業の安全確保のため、崩壊斜面中腹にワイヤーセンサーを設置し運用開始(平成26年8月29日)。警報装置は監視復旧センター(後に現場事務所へ移設)、崩壊箇所直下の2箇所に設置。

※ワイヤーセンサー

土石流によってワイヤーが切断されると、ワイヤーセンサーと連動した警報装置(回転灯・サイレン)が作動し、異常発生を周囲に知らせる。供養佛地区における対応では、ワイヤーの切断信号を無線により伝達する仕組みを採用。

湯沢河川国道事務所の活動状況

災害対策支部の体制 : 警戒体制:平成25年8月9日 注意体制へ移行:平成25年12月4日
体制解除:平成26年7月16日



平成25年8月9日に災害対策支部で警戒体制発令



事務所管内の溪流および砂防施設点検を実施



災害発生日から仙北市ヘリエゾン※を派遣



仙北市災害対策本部でのリエゾン活動

※リエゾン(災害対策現地情報連絡員)

各自治体に対し、的確かつ迅速な災害対応支援を実施するため、「災害対策現地情報連絡員(リエゾン)」を被災市町村の災害対策本部等に派遣し、積極的に情報の収集及び提供を行う制度(平成19年12月創設)



情報収集活動(事務所内)



秋田駒ヶ岳火山防災ステーションでの災害情報の提供



※本資料に掲載の数値等は速報値であり、今後変更となる場合があります。
※本資料に使用した写真はすべて湯沢河川国道事務所が撮影したものです。

国土交通省 東北地方整備局
湯沢河川国道事務所 調査第一課

住所：秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2

電話：0183-73-5544(調査第一課直通)

<http://www1a.thr.mlit.go.jp/Bumon/J75201/index.html>